

March 15th (Tuesday)

研修の最終日に研修成果の発表と修了式が行われました。

研修中のほぼ毎日夕刻に1時間～1.5時間ほど費やし、その日に行った研修内容を議論し、振り返りを行ってきました。その内容をグループに分かれ研修の成果として発表を行いました。研修内容の概略や米国の医師や薬剤師、看護師、製薬会社研究員に直接聞いて肌で感じた内容を述べた後、それらをもとに日本と米国の保険制度の違い、医療制度の違い、薬剤師の職務内容の違いを比較し考察していました。

研修成果発表後は修了式が行われ、各自に UCR から研修修了証が授与されました。

研修開始当初は質問、議論に躊躇していた学生も後半には積極性が増し大きな成長が見られました。今回の研修は2週間に満たない短い時間ではありましたが、学生達が米国で実際に医療機関や製薬会社を訪問し、医療従事者や研究員と接触し、質問、議論した経験は非常に有意義なものあり、この経験は研修期間だけでなく、帰国後も広い視野を持ち、大学での学習の取り組みや将来の進路決定等に有益なものになると思われまます。さらには本研修が豊かな国際感覚を有する薬剤師の育成につながることを期待しております。



研修成果発表



医薬品を用いた発表



研修成果発表



修了証をいただいて